

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	岩田 誠
内山真一郎	臺 弘
大友 英一	梶 龍兒
金澤 一郎	高坂 新一
酒田 英夫	作田 学
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	塚田 裕三
辻 省次	寺本 明
中里 洋一	中込 忠好
中野 今治	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 將	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

痛みと聞いて喜ぶ人は皆無であろう。人類にとっての三大痛みは群発頭痛、心筋梗塞、尿路結石といわれている。この中に入っていないのかという痛みには陣痛があるが、足の小指を机や椅子の角に思いがけずぶつけた時も痛い。くも膜下出血時の痛みは「いきなり殴りつけられたような」と評される。最近、身近で多いのは痛風。これも風が吹いても痛いというのが、発作を起こした当人たちの顔を見ていると辛さが伝わってくる。そしておそらく誰もが1度は悩まされたのは歯痛であろう。また、困ったことに、確たる原因がないにもかかわらず痛い、神経因性疼痛などというのものもある。幸い、この中で自分が経験したことがあるのは歯痛だけで、痛みについてはまだまだ初心者である。

痛みの表現もさまざまである。ちくちく、ぴりぴり、しくしく、ずきずき、じくじく、きりきり、がんがん、じんじん、じんわり、がーん、すきーん、などなど。痛みの強さと質と時間的な要素をそれぞれ表現している。さらには、つねられたよう、えぐられたような、殴られたような、刺されたような、引っ張られたような、灼けるような、などなど。こちらは内的要因による痛みをよくある外的要因による痛み置き換えて表現している。

痛みはかくも原因が多く、また、その感じ方もさまざまであるにもかかわらず、痛みを処理する中枢機構は共通である。この多様性はいったいどこから生まれてくるのか不思議である。当たり前ではあるけれど、人は痛みの原因となる怪我や病気で死ぬことはあっても、痛みそのもので死ぬわけではない。にもかかわらず、痛くて死にそうという表現をする。痛みと同格(?)の感覚にかゆみがあるが、こちらは、かゆくて気が狂う、かゆくて死にそうと表現するが、痛くて気が狂うという表現はなく、一気に死にそうになる。痛みとは生体に対する危険信号であると言ってしまうばそれまでであるが、まさに単純で複雑としか言いようがなく、痛みの研究者のご苦労がよくわかる。

まとまりのない話になりどうやって締めようかと悩んでいたら、京都大学の山中伸弥先生がiPS細胞の業績でノーベル生理学・医学賞を受賞というビッグニュースが飛び込んできた。おめでとうございます。この話題を逸早く11月号で取り上げられるのは、あとがきの締切に遅れたことがもたらした幸いである。(泰羅雅登)

【お知らせ】山中伸弥先生のインタビュー記事無料公開中

山中伸弥先生のノーベル賞受賞を記念して、弊誌第61巻6号(2009年6月号)掲載のインタビュー「iPS細胞の可能性」(岡野栄之、山中伸弥 vs 辻 省次)を弊社電子ジャーナルサイト「MedicalFinder」上で無料公開しています。以下のアドレスからぜひご覧ください。

<http://medicalfinder.jp/ejournal/1416100509.html>

BRAIN and NERVE (第64巻 第11号)

2012年11月1日(毎月1回1日発行)

定価 3,990 円〔本体 3,800 円＋税 5 % (配送料実費)〕

2012年 年間購読料(税込み、配送料弊社負担)

冊子版 35,670 円、冊子＋電子版 個人 40,670 円／共有 46,100 円、

電子版 個人 35,670 円／共有 41,100 円

販売部直通電話 (03)3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2012, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。